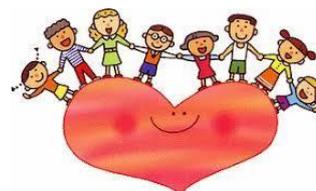


学校だより 人・地域・学校を結ぶ

むすぶ



「立志」を育み「気概」を養う だれもが幸せになる学校

新潟市立結小学校

令和6年6月20日号



時間を守ることは、なぜ大切？

校長 北村 宏



5月の運動会は、本当にさわやかな運動会でした。赤も白も学年も越えて、みんなでがんばっている姿、自分たちのチームにも相手チームにも拍手を送る姿を見てとても温かい気持ちになりました。

6月の全校朝会では、「時間」についてお話をしました。

(前略)6月には祝日はありませんが、記念日はあります。しかも祝日よりずっと前からある記念日です。さて、6月10日は何の記念日でしょうか？正解は「時の記念日」です。今から100年以上前に決められた歴史のある記念日です。時間の大切さや時間を守ることを意識するために決められました。

もし、時間を知る方法がなかったらどうなるでしょう。いつ起きたらいい？学校はいつ始まる？勉強やスポーツいつまで続けられればいい？ごはんはいつ？皆さんだけでなく、大人も大混乱です。

初めて時間をみんなに知らせたのは、今から1300年ほど前の天智天皇です。水時計をつくり、鐘を鳴らしてみんな時間を知らせたそうです。すると、「次の鐘までもうひとがんばり」、「次の鐘で次の仕事」というように、ずいぶん作業や仕事がかどるようになったそうです。はじめに知らせた日が6月10日だったので、「時の記念日」になりました。今では日本ほど時間に正確な国はないと言われるほどで、外国から来た人は、日本の電車やバスが全く遅れることがないのにたいへんびっくりするそうです。

「時間を守りなさい」とか「時間を守ることは大切です」と言われたことがあるでしょう。どうしてでしょう。今日は私の考えを話します。

理由の1つ目は、自分のため。誰でもやりたいこと、やらなければならないことがいくつかあると思います。ゲームをしたい、友達とサッカーをしたい、宿題をやらなくちゃいけない、お風呂にはいらなくちゃいけない…。時間を決めずゲームだけをしていたら、友達とも遊べず、宿題も終わらないなんてことになりかねない。時間を決めたり、守ったりすることで、やれることが増えるからです。

理由の2つ目は、人と関わるためです。授業のときや運動会などの行事のときなど、みんなで一つのことをしたり、友達と一緒に何かしようとしたりするときは、時間を守らなければうまくいきません。時間が守れずに遅れてしまうと、時間を守っただれかの「時間」を無駄にしてしまうことになります。時間を守ることも思いやりだと思うからです。

これは、ドラえものの秘密道具「スケジュール時計」。時間を守れないのび太さんのために、出してくれたものですが、時間を守らないと、攻撃してでも守らせようとします。おかげでのび太さんもドラえもんも散々な目にあってしまいます。時間は誰かに守ってもらうのではなく、自分で守ることが大事だということですね。

結小学校には自分で時間を守ろうとする人がたくさんいます。休み時間に遊んでいる人たちが、終わりの時間になると、さっと教室に移動します。いつも感心しています。ある年の修学旅行では、旅行先の人から、こんなに大勢の学校で、時間通りに行動できる学校は初めてですと褒められました。時の記念日を機会に少し時間を意識して、結小学校の良い伝統をこれからも大切にしていきたいと思います。

いじめ見逃し0のために

いじめは、心身の健全な成長や人格の形成に大きな影響を与える絶対に許されない行為です。全ての児童が安全に安心して学校生活を送り、一人一人の個性や能力を十分に伸ばすことができるように、「いじめ見逃し0」に全力で取り組んでいます。

いじめを起こさない環境の整備



授業をはじめ、全ての教育活動を通していじめが起きにくい温かい雰囲気为学校風土を醸成します。授業中の間違いに対する冷やかしたり馬鹿にした態度に対しては見逃さず指導します。ピア・サポート活動に力を入れ、「ありがとう」「助かるよ」などの声掛けが日常的に交わされるようになることで、児童の自己有用感を高めていきます。

※ピアサポート活動とは、子どもたちがお互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育むために行う活動です。週に1回のピアサポートタイムでは、学級や縦割り班での活動を組織しています。

複数の教職員による児童の見取り



いじめの防止や対応は、担任一人ではなく、学校全体がチームとなって進めていくようにしています。複数の教職員で児童を見守り、様子を見取り、情報を共有しています。年度初めの職員研修では、いじめの兆候が発見された場合の対応について、全職員で確認しました。

いじめに関する情報の収集



いじめの兆候を捉えたり、いじめを早期に発見したりするために、様々な場面での児童の行動や会話の様子を見取るほか、教育相談やアンケート調査などから多くの情報を集めるようにしています。いじめを発見したら、すぐに事実を確認し、複数の職員で対応しています。また、「学校適応感尺度調査(アセス)」やそれに準ずるアンケートを行い、児童の実態を客観的に把握します。

※学校適応感尺度調査(アセス)とは、子どもたちの学校における適応感を多面的に測定するためのアンケートです。

いじめ防止道徳授業・学級活動の実施



全学年・全学級で、いじめ防止につながる題材で道徳の授業、学級活動を行います。

縦割り班の異学年交流



1～6年生で構成されている縦割り班での活動を通して、互いに助け合い思いやる心を育てます。今年度も縦割り班清掃や縦割り班遊び、ペア学年でのサポート活動等を行う予定です。様々なイベントを通して、異学年の友達との交流を深めていきます。

全職員で継続して児童の様子を見取り、いじめが起きにくい温かい学校風土づくりに取り組んでいきます。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。気になることがありましたら、ぜひ担任へご相談ください。